

日吉歯科診療所や熊谷先生がメディアに取り上げられる機会は今までも数多くありましたが、これほど大きな影響力があるのは、「プロフェッショナル」「カンブリア宮殿」に続き 3 回目だと思います。「プロフェッショナル」「カンブリア宮殿」どちらも素晴らしい内容ではありましたが、放送時間の枠が決まっておき、もの足りないと感じてしまった側面もありました。ただ、今回の書籍では著者の竹田さんが取材をされた中で、書きたいと思ったことを全て書かれているように感じるくらい、内容も充実していました。この書籍を手にする一般の方々には、小説の様に簡単に読み進められる一方で、自分が受けている歯科医療に対して疑問を持つような内容になっていると感じました。

このようなメディアに取り上げられる度に、日吉歯科が今の形になるまで、多大なる努力と時間を要していることを再認識させられます。熊谷先生は、常々、真のオーラルフィジシャン診療所を作ることは、ある意味では専門医資格を取るより難しいと言っています。“命の寿命と歯の寿命を逆転させる”究極の目標はそこにありますが、今回の書籍にも書かれているようにそこにたどり着くまでは非常に険しい道のりです。MTM、唾液検査、メンテナンス、これらのことをやれば目標が達成されると思われがち側面もあります。しかしながら、真の患者利益を達成するためには、まさに“命を懸けて”覚悟を持って臨まなくてはならないと、熊谷先生の側において常に感じています。

また、「カンブリア宮殿」の放送から1年も経過していないにも関わらず、その頃から今に至るまで、日吉歯科は“医と産業の連携”や“クラウドサービス”などを中心に物凄いスピードで成長・発展していることも痛感します。日本人の命の寿命と歯の寿命を逆転させるために歯科界を変えようと、熊谷先生はこれまで数多くの活動をされてきました。しかし、歯科界が変わるだけでは目標を達成することは難しく、患者さんサイドからも変えようと“医と産業の連携”“クラウドサービス”という新しい取り組みを始めています。これらの取り組みや、メディアに取り上げられることにより、患者さん側が正しい情報を入手し、歯科医院や口腔内の情報が今まで以上に身近になるのではと感じています。そして歯科医療の価値がさらに向上することを期待します。

これからも自分を成長させるとともに、日吉歯科診療所の成長・発展、そし

て日本の歯科界を変えることに微力ながら貢献できるように、日々研鑽を積んでいく所存です。